

秋田で各国駐日大使の連続講演会をやっています！

2010年5月15日

国際教養大学 企画課・地域交流チーム

国際教養大学（秋田県）では、その開学5周年と秋田魁新報の創刊135周年を記念する行事として、昨年9月から本年8月まで「国際社会の未来と日本の役割」のテーマの下、各国駐日大使の連続講演会を開催しています（秋田魁新報と共催）。学内の学生のみならず、学外の多くの市民の参加も得て、これまでに英国、フランス、ロシア、モンゴル、韓国の大使の講演会を開催し、これからエジプト、カナダ、オーストラリア、インド、ドイツの大使の講演を予定しています。

1. 連続講演会の構想

国際教養大学は、人里離れた秋田の山中にありながら、講義を全て英語で行い、一年間の留学を義務付ける少し変わった大学として全国的に知名度を上げつつあります。新設の大学としては一定の成功を収めているとの評価も受けています。しかし、全国的に評価を受けるが故に、新入生の8割以上を県外出身者が占めており、本学の予算の大部分を負担してくれている地元秋田にどう貢献するかが大きな課題となっています。そうした中で、開学5周年の記念行事の一つとして外交の最前線で活躍する各国の駐日大使を招いて連続講演会を開くというプランが浮上しました。急速にグローバル化する国際社会の将来像についての理解を秋田の市民と本学の学生が共有する場を設けることで、地域社会を国際社会へと繋ぐ「知的結節点」としての本学の意義を示そうという着想です。学内でそんなアイデアの出たのが昨年4月のことでした。

2. 運営上の苦労

実際に講演会を行うとなると、まず考えなくてはならないのは使用する言語のことです。

まず、構想の段階で考えたのは、本学の学生は英語で講演を理解することができるけれども、地元の市民には英語の分からない方も多いので英日の同時通訳が必要になるだろうということでした。

しかし、意外なことに、これまでの5回の講演会で英語で話したのはロシア大使だけで、英国大使とモンゴル大使は日本語、フランス大使はフランス語、韓国大使は韓国語での講演となりました。講演が日本語の場合でも、日本語の分からない留学生などのために日英の同時通訳を付ける必要があり、フランス大



（ウォレン駐日英国大使の講演、2009年9月）

使と韓国大使の場合には、それぞれ仏英と仏日、韓英、韓日の同時通訳を手配する必要も生じました。また、講演の後には原則として質疑応答の時間を取っていますが、質疑応答を同時通訳で処理することは難しく、英日・日英（あるいは仏日・日仏など）の通訳を司会者が逐次で行う形になりました。

言語の問題以上に難しかったのは、各国大使に多忙な日程を割いて秋田まで来てもらっているために、日程が直前まで決まらなかったり、直前に日程の変更を余儀なくされる事態が頻繁に生じたことです。地元の方々の参加の呼び掛けには、秋田魁新報の紙上での宣伝に大きく依拠しており、いったん紙上で講演日を発表してしまうと、講演会を延期する



（クォン駐日韓国大使の講演、本年4月）

場合の通知が難しく、講演日程の変更の可能性に気をもむことが、何度もありました。

失敗はいろいろありましたが、その中でも特に反省しているのは、韓国大使の講演会の時に会場の座席と同時通訳レシーバーが足りなくなってしまったことです。そうした失敗について各方面の方々の御宥恕を得ながら、なんとか5回の講演会を終えてきたというところです。

3. とりあえずの成果

さしあたりの評価として、上述の地域社会を国際社会へと繋ぐという目的は、ある程度果たせていると考えています。会場の定員が300名なので直接に講演を聴く市民の数は限られていますが、毎回、秋田魁新報が第一面で講演の概要を伝えた上で、中面に講演の全文を掲載し、さらに同紙によるインタビューの内容を報じてくれており、県内の26万世帯の同紙読者にとって、それらの記事を読むことが、「国際社会の未来と日本の役割」に思いを致す一つの契機となっていると考えているからです（地元ケーブルTVでの放映もしています）。

他方で、大学の事務局職員が各国の在京大使館とのやりとりを経験することで、大使館と一緒に仕事をしていく上でのノウハウを得られていることにも大きな意義があります。本学は、既に世界31か国108大学と学生交換のネットワークを築いていますが、各国政府機関との関係は必ずしも十分に展開できていません。我々は、本学が一つの高等教育機関にとどまらず、秋田から世界へと多面的に情報発信する拠点へと発展していく過程で、この連続大使講演を通じて培ったノウハウを生かしていければと願っています。

なお、連続講演会は5月29日のエジプト大使講演、6月8日のカナダ大使講演など、まだ5回を残しています。秋田市近辺に在住の方は、是非、本学のウェブサイト(<http://www.aiu.ac.jp/japanese/index.html>)で最新の日程をチェックしてみてください。

（文責：豊田哲也 国際教養大学グローバル・スタディズ課程・助教）